



第253回農林交流センターワークショップ（先着順・参加費無料）

12月10日 木 ~ 11日 金

「土壌還元消毒」の基礎から実践、その応用まで

受講される方には事例実習のための事前準備を行っていただきます。

受講者決定後に、事前準備に関する入力フォームについてご連絡いたしますので、ご対応いただきますようお願いいたします。

*土壌消毒を必要としている作物、圃場や栽培条件などの情報（問診票のようなもの）

園芸農業では、連作などに伴う土壌病害虫による被害が甚大で対策が求められています。土壌消毒の方法としては、土壌くん蒸剤が一般的に用いられていますが、適用が困難なことや十分な効果が得られていない場合も散見され、リスク削減の観点から代替技術が望まれています。土壌中で微生物によって分解されやすい有機物を用いた「土壌還元消毒法」は、土壌くん蒸剤を補完・代替する技術の1つとして普及が進んできていますが、現状では、適切な処理方法が採られていないことによって必ずしも期待した効果が得られていない事例もあります。

本ワークショップでは、「土壌還元消毒法」の基本原則から実践、また、応用事例等について参加者に習得していただきます。参加者は、広く生産団体や農業法人の研究者、行政部局、普及機関等を対象としており、各地域や作物の種類による使用場面での活用法などを幅広く議論し、効率的で適正な処理設計や技術の普及、相互交流を深めることを目的としています。

▲散水チューブをセット後、
透明フィルムで被覆している様子

▶開催日：令和8年12月10日（木）～12月11日（金）※2日間

▶開催場所：①農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター

②農研機構農業環境研究部門 圃場

（①②ともに茨城県つくば市観音台の筑波農林研究団地内）

▶申込対象：生産団体、農業法人の研究者、行政部局、普及機関

（農業を対象とした課題に取り組む研究者や技術者も含みます。）

▶募集人数：先着40名程度（申込締切日に関わらず、定員に達した時点で受付終了とします。）

コーディネーター・講師

農研機構 農業環境研究部門

研究推進部 技術適用チーム

小原 裕三（こばら ゆうそう）

※農研機構とは...
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の
コミュニケーションネーム（通称）です。

講義と実習の概要

12月10日（木）10:00～17:15

10:00～11:00【講義】土壌還元消毒の概要と背景

11:00～12:00【講義】糸状菌、センチュウなどに由来する病害の発生生態と対策、評価法について

13:00～14:00【講義】青枯病等、土壌細菌に由来する病害の発生生態と対策、評価法について

14:00～15:00【講義】固体土壌還元消毒資材の紹介、実施事例や実践など

15:15～16:00【講義】現地実証から横展開へ

～低濃度エタノール土壌還元消毒法の導入・普及プロセスから学んだこと～

16:00～16:45【講義】高知県芸西村でのトルコギキョウ栽培における低濃度エタノールによる土壌還元消毒法の導入・普及活動の紹介

16:45～17:15【フリートーク】全体の質疑を含む

12月11日（金）9:15～14:20

9:15～9:40【技術紹介】「ソイルファイン®、ソイルチェンジャー®」を用いた効果的な土壌還元消毒法と事例紹介

9:45～10:15【技術紹介】「エコロジアル®」を用いた効果的な土壌還元消毒法と事例紹介

10:30～12:00【圃場実習】土壌還元消毒法の実演・紹介

13:00～14:00【事例演習】土壌還元消毒法の処理設計と処理方法

14:00～14:20【フリートーク】全体の質疑を含む

申込締切日 令和8年11月11日（水）まで※注

お申込みはウェブページよりお願いいたします。

※注：本ワークショップは先着順となるため、申込締切日前に定員に達した場合は、その時点で受付終了といたします。



農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課

〒306-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 TEL.029 (838) 7136 E-mail: koryu7129@maff.go.jp

ホームページURL: <https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>